

水都大阪の取り組み

～水と光の首都大阪の実現をめざして～



水都大阪 水の回廊(主な船着場)



大阪都市魅力創造戦略 (計画期間:平成24~27年度)

世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力を創造・発信

2015年シンボルイヤーに向け、大阪を世界へアピール！

基本方針

① 世界の都市間競争に打ち勝つ
都市魅力創造の基盤づくり

② 感動や興奮に出会える
効果的なイベントの展開

③ ターゲットに響く
戦略的なプロモーション

水と光の首都大阪の実現

文化施策の評価・企画・
シンクタンク機能の構築

世界の観光客が憧れる大阪
の実現

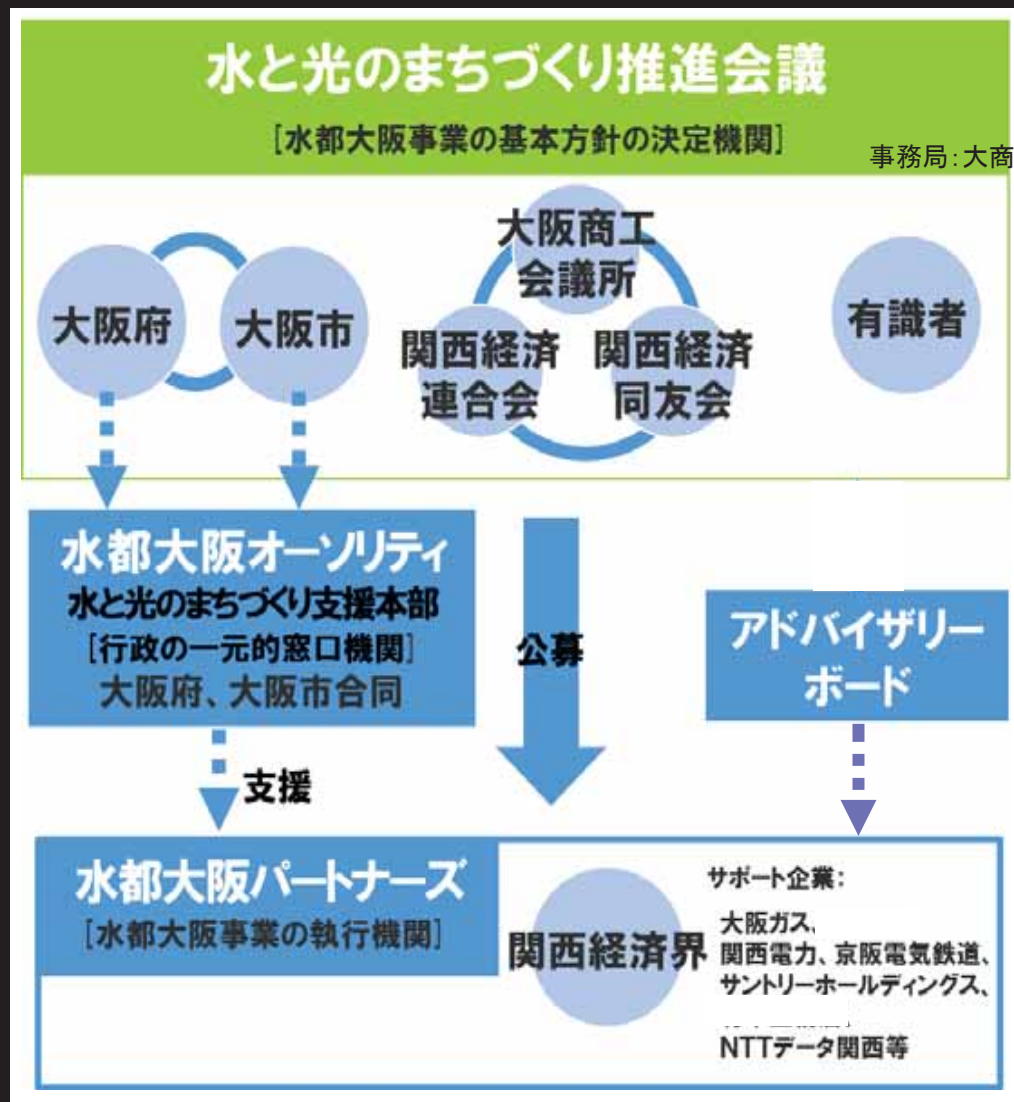
- ・ コリドール(新たなシンボル空間を創造し、集客拠点と水の回廊でつなぐ)
- ・ グラン・バル(世界の観光客を「水と光と食」でおもてなし)

水と光のまちづくり推進体制の構築

- ・ 府、市、経済界のトップで構成する意思決定機関「水と光のまちづくり推進会議」
- ・ 民主導の都市魅力創造・まちづくりの推進組織の「水都大阪パートナーズ」
- ・ 都市経営の視点で民間活動を支援する行政組織の「水都大阪オーソリティ」

■ 水都大阪の推進体制

「水都大阪」は大阪府、大阪市、関西経済界が一体となって推進します。



【水都大阪の歩み】

2001年12月
内閣官房都市再生本部都市再生プロジェクト認定

2007年5月
「水都大阪2009」実行委員会設立

2009年8～10月
「水都大阪2009」を開催

2010年4月
水都大阪推進委員会設立

2012年12月
大阪都市魅力創造戦略策定

2013年4月
一般社団法人 水都大阪パートナーズ設立
活動期間：2013年4月～2017年3月

【水と光のまちづくり推進に関する基本方針】

世界の都市間競争に打ち勝つ「水と光の首都大阪」の実現をめざす。そのために、2015年シンボルイヤーをキックオフの年として、2020年に向けて、オール大阪で取り組む。

- ◆ 世界から注目される「水と光のシンボル空間」を実現
- ◆ 「水と光」の魅力で、誰もがいつでも楽しめるテーマパークに
- ◆ 水と光による新たなビジネスモデルや賑わいの創出に向け、国内外のタレント（才能）が集い、活躍する舞台に
- ◆ 新たな公民連携モデルの構築

「水都大阪」の再生

平成13年(2001)12月 第3次都市再生プロジェクト:「水都大阪」の再生

「都市再生プロジェクト」

東京圏、大阪圏など大都市圏再生のリーディングプロジェクト

第3次選定プロジェクトに 大阪圏の取り組みとして『「水都大阪」の再生』が採択

水循環系の河川の再生として、都心部の河川について沿川のまちづくりと一体となった再生構想を策定し、環境整備を推進

- ・ 川を活かしたまちづくり・都市の再生
まちづくりと一体となり水都大阪の魅力を向上する
「河川空間の活用」地域活性化
- ・ 川の活用
楽しみの提供で川に来てもらう
「舟運」の振興、**「水辺のにぎわい」**の創造
- ・ 川の再認識・再評価
美しい景観で関心を引き付ける
⇒新たな取り組みとして**「夜間景観(水と光)」**で勝負
水都大阪のブランドカアップ、水都大阪の魅力を発信

■ 公共空間整備



とんぼりリバーウォーク（2005年）



八軒家浜（2008年）

■ 公共空間整備



尻無川 大阪ドーム南公園（2006年）



天満天神遊歩道（2013年）